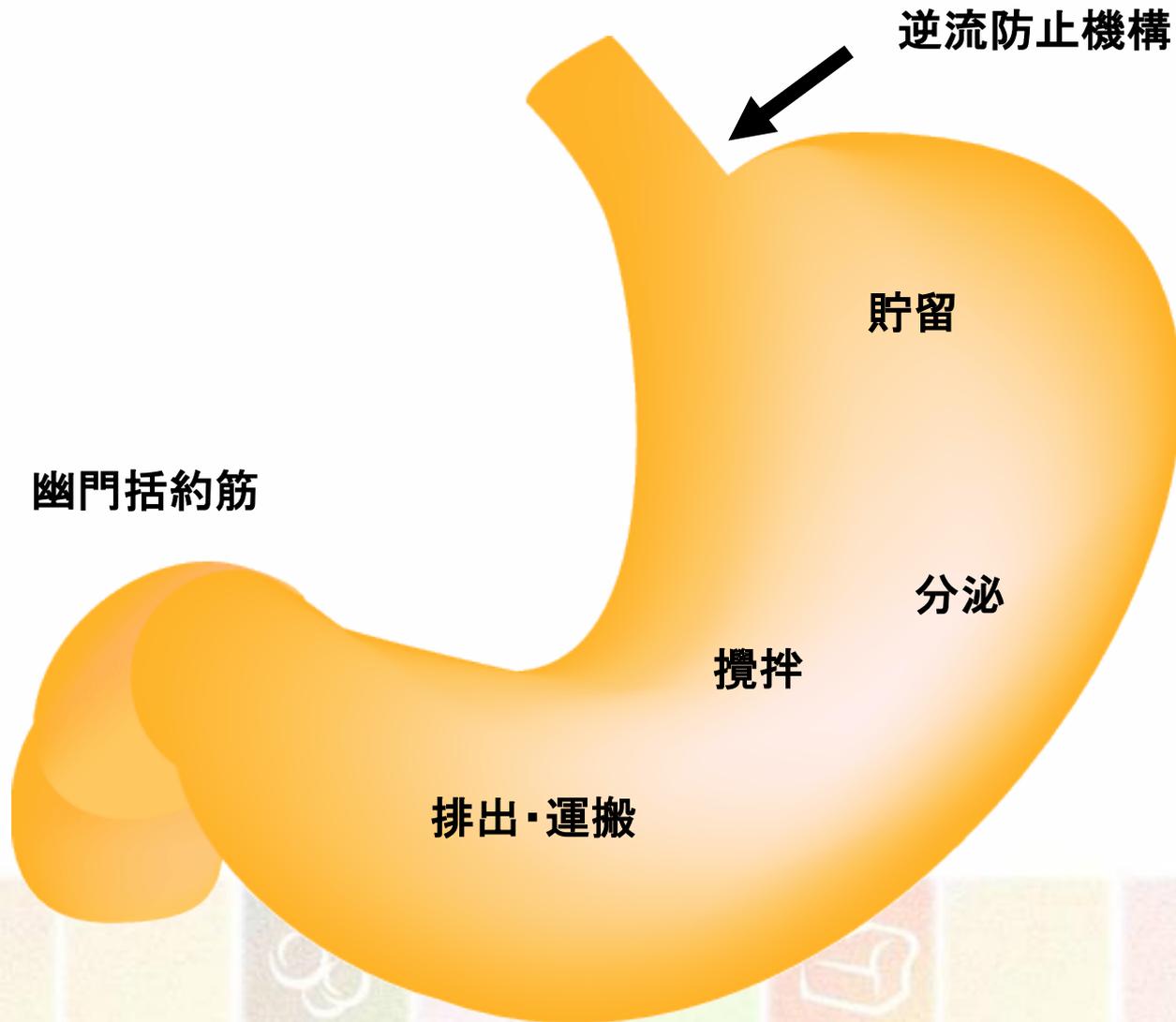


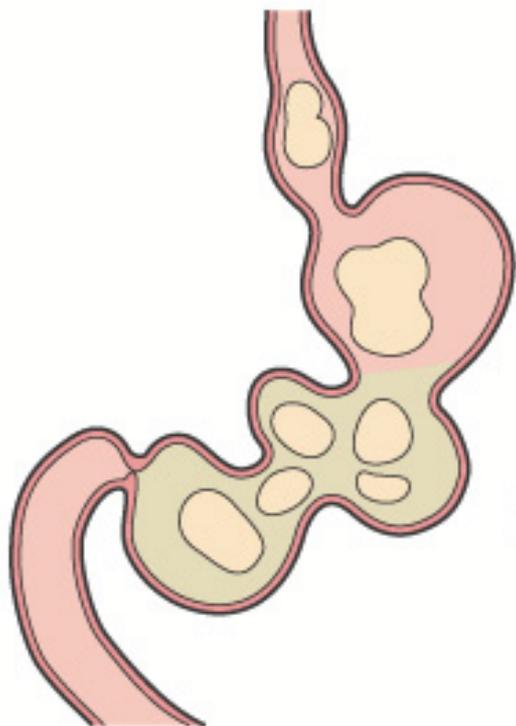


# 胃を切ったあとにおこる 後遺症とその対策

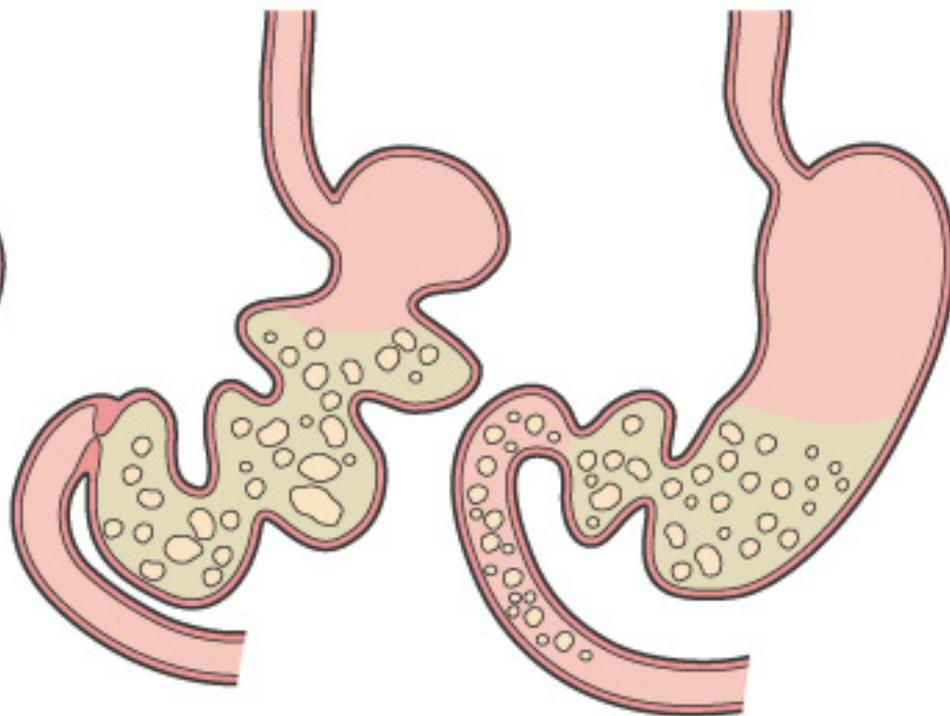
関西医科大学外科 山田正法

# 胃のはたらき(部位)

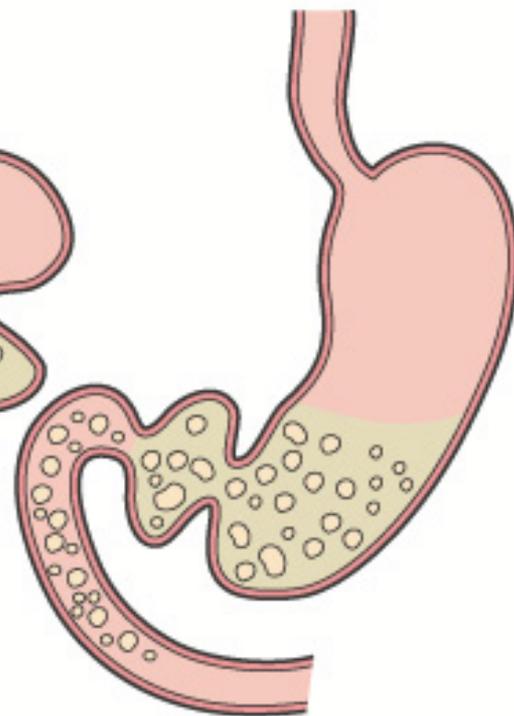




貯留



攪拌



排出・運搬

胃を切除することにより、胃の機能の一部またはすべてを失う



**胃切除後障害が発生する**

### **対策**

手術の方法を工夫する。  
生活の方法を工夫する。  
薬で症状を改善する。

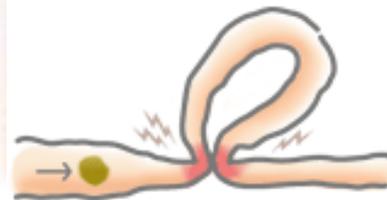
# 胃がん手術後の後遺症

- 腸閉塞
- ダンピング症候群
- 貧血
- 骨粗鬆症
- 逆流性食道炎
- 小胃症状

# 胃がん手術後の後遺症①～腸閉塞～

## 腸閉塞とは・・・

- 手術したあとは、ほとんどの場合お腹の中で腸があちこちにくっつきます。（癒着といいます）  
その結果、腸が急カーブしたり、せまくなることによって腸閉塞が起こります。せまくなったところに食べ物がつまると、便もガスもでなくなります。  
ときには腸がねじれて、腸の流れが閉ざされてしまうこともあります。



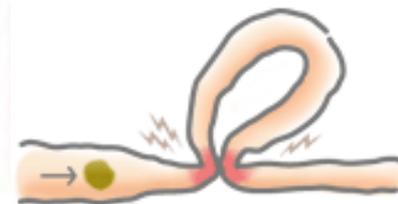
# 胃がん手術後の後遺症①～腸閉塞～

## 🍊 症状

- 🍊 一般的に悪心、嘔吐、排便・排ガスの停止、腹痛がみられます。時には、腸がねじれて血流が途絶え、時間とともに腸が壊死（腸管の細胞が死滅してしまうこと）して、腸に穴が開いたりして大変危険です。吐気や嘔吐に加えて痛みが強い場合には、必ず医師の診察を受けて下さい。

## 🍊 治療法

- 🍊 多くの場合には、**絶食している**と**自然に治る**のですが、ときには癒着を剥がしたり、ねじれを治す手術が必要なことがあります。



## 胃がん手術後の後遺症② ～ダンピング症候群～

### 🍊 ダンピング症候群とは . . . . .

- 🍊 胃を切除すると、いままで胃の中で攪拌（かくはん）されて少しずつ腸に移動していた食物が、一度に急に腸へ流れ込む状態になります。そのために起きる不愉快な症状がダンピング症候群といわれるものです。食後30分以内にかかる場合（**早期ダンピング症候群**）が多いですが、食後2～3時間で起こる場合（**後期ダンピング症候群**）もあります。

## 胃がん手術後の後遺症② ～ダンピング症候群～

🍌 後期ダンピング症候群は、何故起こるか・・・

🍌 食後2～3時間して起きてくる後期ダンピング症状は、血液中の糖分が低くなるために起こります、

🍌 これは、糖分の多い食物が腸に入ったために急に血液の糖分の濃度が上がってしまい、これを下げようとして大量のインシュリン（血液の糖分を下げる作用があるホルモン）が出てきて、逆に糖分が下がりすぎるために起こってくる症状であることがわかっています。

# 胃がん手術後の後遺症② ～ダンピング症候群～

## 🍊 症状

- 🍊 早期ダンピング症候群・・・食後30分以内に発汗、めまい、脈拍が上がるなどの全身症状と悪心、腹部膨満感、下痢などの消化器症状が出現します。
- 🍊 後期ダンピング症候群・・・食後2～3時間に頭痛、汗が出る、脈拍が増える、めまい、脱力感を覚え、ときには気を失ってしまうこともあります。

## 🍊 治療法

- 🍊 早期ダンピング症候群・・・安静により数分～数十分で改善します。しかし、顕著な場合は抗セロトニン薬や粘膜麻酔薬を投与することもあります。
- 🍊 後期ダンピング症候群・・・糖質の補給が必要になります。ブドウ糖の静注や、ビスケットやあめ玉、氷砂糖をとったり、甘い飲み物を飲んで下さい。予防するには、食後2時間あたりに何かおやつを食べることが有効です。



# 胃がん手術後の後遺症③～貧血～

## 胃がん手術後の貧血とは・・・

胃の切除により、鉄分やビタミンB12が吸収されにくくなるために貧血が起こります。前者は、鉄欠乏性貧血、後者は巨赤芽球性貧血といいます。

## 鉄欠乏性貧血

手術後数ヶ月から出現することがあります。治療は、鉄剤の補充を行います。

## 巨赤芽球性貧血

ビタミンB12は体内に蓄積されており、数年間はその蓄積したビタミンB12でまかなうことができます。しかし手術後4～5年以降には蓄積がなくなり、巨赤芽球性貧血が発症することが多いです。治療法は、ビタミンB12の注射による補充です。定期的に血液検査をして、不足していれば補給する必要があります。



## 胃がん手術後の後遺症④～骨粗鬆症～

### 🍊 骨粗鬆症とは . . . . .

- 🍊 胃の手術をすると、カルシウムの吸収が悪くなるため骨のカルシウムが減少して骨が弱くなります。ときに骨折したりします。
- 🍊 定期的に骨のカルシウムの濃度（骨塩量）を測定（レントゲンなどで簡単に測定できます）し、必要であればカルシウムや、ビタミンDの投与が望ましいとされています。普段からカルシウムの補給には十分気を付けましょう。

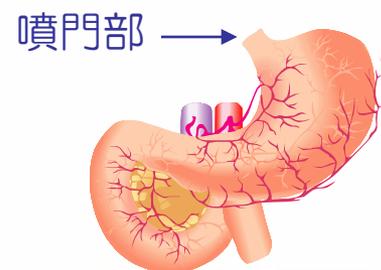


# 胃がん手術後の後遺症⑤

## ～逆流性食道炎～

### 🍊 逆流性食道炎とは . . . . .

- 🍊 食道内へ胃の内容物が逆流することです。これは手術によって胃の入口（噴門）の逆流防止の機能が損なわれたために起こります。特に胃全摘や、噴門側胃切除の術後に多く見られます。



# 胃がん手術後の後遺症⑤

## ～逆流性食道炎～

### 🍊 症状

- 🍊 苦い水（腸液）や酸っぱい水（胃液）が口のほうへ上がってきたり，胸やけなどの症状が見られることがあります。

### 🍊 治療法

- 🍊 上半身を20度くらい高くして寝るとよいのですが，病状に応じて粘膜保護剤，制酸剤，酵素阻害薬（有害な酵素作用を止める）などさまざまな薬が投与されることがあります。

# 胃がん手術後の後遺症⑦～小胃症状～

## 🍵 小胃症状とは・・・

- 🍵 胃を切除したために胃が小さくなり、あるいはなくなることによって起こってくるすべての症状を小胃症状といいます。

## 🍵 症状

- 🍵 食事が少ししか入らない、あるいは、すぐにお腹が一杯になるといった症状は最も一般的な症状です。手術を受けられたほとんどの方が経験される症状です。

## 🍵 治療法

- 🍵 お腹を順応させてやることが大切になります。そのためには、食事のとり方が大切です。

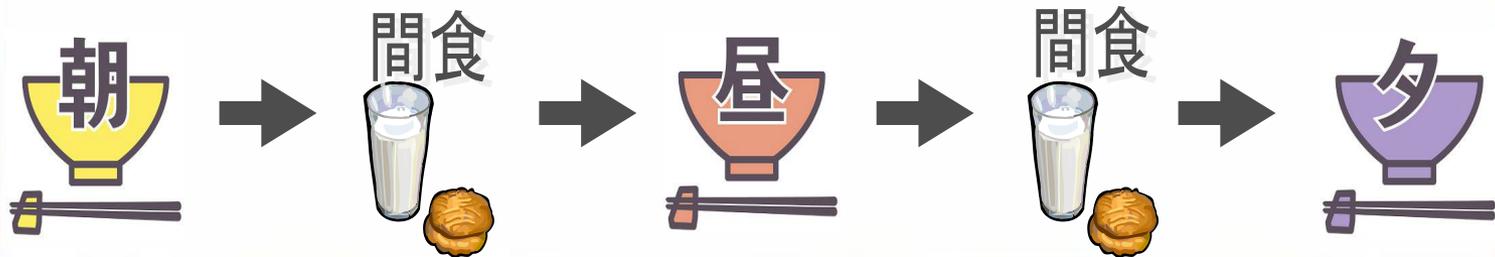


# 胃がん手術後の食事

- ❶ 1回の食事量は無理をせず少なめに、たくさん食べられないときは、回数を多くしましょう。

退院後2～3カ月

朝、昼、夕の3食を基本とし、午前10時と午後3時にビスケットと牛乳など、2～3回の間食を目安に。



# 胃がん手術後の食事

よくかんで、ゆっくり食べましょう。

よくかむことで、唾液と食べ物がよく混ざり、胃腸の負担が軽くなります。歯の悪い人や入れ歯のあっていない人はできるだけ早く治療しましょう。

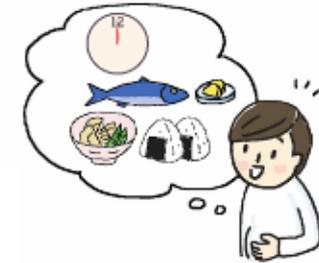


食べすぎないように気をつけましょう。

食事時間を規則的にしましょう。

アルコールは担当医と相談のうえ

開始しましょう。



# 胃がん手術後の食事

🍬 甘いものは食べてもよいでしょう。

(後遺症②ダンピング症候群 参照)



急な低血糖になることがありますので ポケットに甘いものをいつも入れておき、症状が出た場合はすぐ食べるようにしてください。症状がしばしば出る人は食後2時間くらいしたら、あめ玉などなめて 低血糖を予防するとよいでしょう。

🍶 水分も忘れずにとりましょう。

水分は飲んでも流れて行きやすく、吸収は固形物に比べて格段に速いので、水分も忘れずにとって下さい。ただし食事中の水分摂取はダンピングを起こしやすくなるので、ほどほどにしましょう。

# 診察・検診



# 胃がん手術後は、定期的に 通院しましょう！

## 🍊 目的

- 🍊 転移・再発の早期発見
- 🍊 後遺症に対する治療・生活指導

## 🍊 検査項目

- 🍊 CT、超音波検査、胃X線検査、胃内視鏡検査、血液（腫瘍マーカー）など

# 最後に . . .

## 🍌 規則正しい生活を続けましょう

十分な睡眠をとり、食事と間食の時間を守ることは、胃切除の後遺症を予防する上で大切です。また、体重の変化は術後の状態を知る良い目安になります。

## 🍌 病気のことを一人でくよくよ考えたりしてストレスをためることは避けましょう。

食事や体力の不安が解消してきたら、外食や旅行などにも挑戦して生活を楽しんでください。

## 🍌 退院直後から日常生活への復帰に向けて、段階的にリハビリを開始しましょう。

最初は散歩などから初めてください。重たいものを持ったり腹筋を使う運動は、少なくとも術後3ヶ月程度たってから行うほうが無難です。事務などの軽作業は早期に仕事に復帰できますが、体力を必要とする仕事は少なくとも3ヶ月以降がよいでしょう。体力回復には個人差などがありますから、担当医とよく相談してください。

